

# カキ生育情報

第 8 号  
千葉県農林水産部  
令和 6 年 1 2 月号

本年は収穫が早く始まり、果実の大きさは平年並みで、糖度は「松本早生富有」は高い傾向でした。落葉後から発芽前までに整枝・せん定を実施しましょう。また、うどんこ病は発芽前の3月中下旬、カイガラムシ類は休眠期の12～2月がそれぞれ防除適期となります。

## 1 1年間の気象

令和5年12月から令和6年11月の月別気象を表1に示した。月平均気温は全ての月で令和5年12月～令和6年11月は平年より高く、他は平年より低かった。1年間の平均気温は17.6℃で、平年より1.4℃、前年より0.8℃高かった。

降水量は令和6年2月～6月及び8月が平年より多く、他は平年より少なかった。1年間の合計は1,658mmで、平年の90%、前年の95%であった。

日照時間は令和6年2月、4月、5月及び10月が平年より少なく、他は平年より多かった。1年間の合計は2,327時間で、平年の117%、前年の110%であった。

表1 令和5年12月～令和6年11月の気象（館山観測所）

年 月	気 温(°C)			降 水 量(mm)			日 照 時 間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
R5 12	10.4	8.9	8.4	46	91	89	198	164	179
R6 1	8.6	6.4	6.3	29	86	47	197	177	162
2	9.1	7.0	8.4	106	82	130	133	155	151
3	10.5	10.1	13.2	258	161	148	185	165	170
4	16.6	14.5	16.5	184	156	135	133	179	207
5	19.4	18.5	19.0	228	153	145	179	185	206
6	22.6	21.5	22.7	356	212	220	190	135	129
7	27.9	25.2	26.8	103	179	49	252	179	274
8	28.7	26.7	28.5	238	103	113	237	216	279
9	26.7	23.7	26.7	141	222	298	196	153	192
10	21.3	18.6	18.8	224	258	200	128	137	202
11	15.0	13.7	15.5	140	144	84	139	147	176
平均/計	18.1	16.2	17.6	2,053	1,847	1,658	2,167	1,992	2,327

数値：暖地園芸研究所の観測機の故障のため、近くにある館山観測所のアメダスデータ

## 2 12～5月の作業

### 1) 整枝・せん定

整枝、せん定は落葉後から発芽前までに、凍害の危険性のある場所は厳寒期を過ぎてから実施する。結果母枝の充実度を確認したうえで、結果過多にならないように留意し、間引きせん定を中心に行い、切返しせん定による枝の更新も行う。特に不必要な徒長枝及び軟弱枝はすべて取り除き、病害虫多発園では密集した枝を風通しのよくなるように適宜間引く。

### 2) 摘 蕾

開花10日前～開花直前（5月上中旬頃）に行う。摘蕾は樹体の消耗を抑え、大果及び高品質果生産と隔年結果防止の効果がある。着蕾量が少ない場合は、小花、奇形花は落とすが、着蕾量を確認しながら過度に行わないようにする。着蕾量が多い場合は、充実した花蕾を1結果枝に1蕾残すように摘蕾する。

### 3) 病害虫防除

落葉の処分と粗皮削りは、病害虫の越冬源を絶ち防除効果が高い。うどんこ病、黒星病を対象とした石灰硫黄合剤の散布は、発芽前の3月中下旬が、カイガラムシ類の多い園では、休眠期である12～2月のマシン油乳剤の散布がそれぞれ防除適期である。また、展葉期の4月下旬は、うどんこ病、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ及びチャノキイロアザミウマの防除適期である。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

### 3 本年度産果実の特徴

本年産のカキの生育状況を振り返ると、3月、4月の気温が平年より高かったため、発芽期、開花期は平年より早かった。梅雨明けが7月18日で平年より1日早く、その後は高温で日照時間が多く果実の肥大が進んだ。9～10月は雨量が平年並みで、果実の大きさは平年並であった。生理落果は平年並みで、炭疽病の被害果及び汚損果は多かった。

#### 1) 収穫期

暖地園芸研究所（以下暖地園研）における収穫期を表2に示した。収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「西村早生」が9月8日、15日、10月6日、「松本早生富有」が10月8日、11月5日、26日、「富有」が10月17日、11月6日、21日であった。始期は平年より「西村早生」が8日、「松本早生富有」は2日、「富有」が3日早かった。盛期は平年より「西村早生」が11日早く、「松本早生富有」は14日、「富有」は1日遅かった。終期は平年より「松本早生富有」が21日、「富有」が6日遅く、「西村早生」は同じであった。

市原市の「松本早生富有」の収穫始期、盛期及び終期は、それぞれ10月15日、11月6日、15日で、前年より始期は12日、盛期は19日、終期は21日遅かった。

表2 収穫期（月/日）（暖地園芸研究所）

半旬	収穫始期			収穫盛期			収穫終期		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	9/8	9/16	9/7	9/15	9/26	9/15	10/6	10/6	10/6
松本早生富有	10/8	10/10	10/11	11/5	10/22	10/27	11/26	11/5	11/15
富有	10/17	10/20	10/15	11/6	11/5	11/5	11/21	11/15	11/21

平年：1997～2023年の平均

但し、2019年は9月の台風により果実が落果したため、調査できず欠損値

#### 2) 果実の品質

収穫果実の1果平均重、糖度、へたすき及び汚損果程度を表3に示した。1果平均重は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ188g、229g、「富有」が263gで、それぞれ平年の96%、100%、104%、前年の94%、99%、97%であった。糖度は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ14.1、16.2、「富有」が14.0で、「西村早生」は平年より0.5低く、前年より1.0高く、「松本早生富有」は平年より0.6高く、前年より0.7低く、「富有」は平年より1.4、前年より0.5低かった。暖地園研のへたすきの発生は「西村早生」が微及び「松本早生富有」が小で共に前年と同程度、「富有」は微で前年より少なかった。汚損果程度は「西村早生」が多で前年より多かったが、「松本早生富有」及び「富有」は中で前年と同程度であった。

表3 果実の大きさ及び品質

品 種	調査地	1果平均重(g)			糖度(Brix)			へたすき		汚損果程度	
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	前年	本年	前年
西村早生	いすみ市	176	195	219	13.7	14.3	11.8	—	—	—	—
	暖地園研	200	195	180	14.4	14.8	14.3	微	微	多	少
	平均	188	195	200	14.1	14.6	13.1	—	—	—	—
松本早生富有	市原市	192	211	171	17.8	16.1	18.2	—	—	—	—
	暖地園研	265	247	291	14.6	15.1	15.6	小	小	中	中
	平均	229	229	231	16.2	15.6	16.9	—	—	—	—
富有	暖地園研	263	252	272	14.0	15.4	14.9	微	小	中	中

へたすき：無、微、小、大、汚損果程度：無、少、中、多

平年：暖地園研は1990年～2023年の平均、いすみ市は1998年～2023年、市原市は1999年～2023年の平均

但し、2019年は9月の台風により果実が落果したため、調査できず欠損値

#### 3) 病害虫の発生

暖地園研では、炭疽病の発生が平年と同程度にみられ、樹上軟化する果実もみられた。果樹カメムシ類の発生が多く、被害果も多かった。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究所 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。